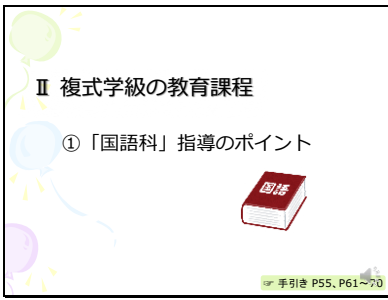


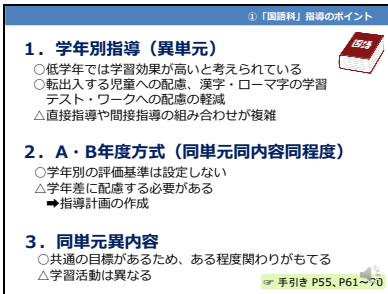
<p>スライド 1</p>	<p>〈講義の内容〉</p> <p>I 複式学級の教育課程編成の特例</p> <p>II 複式学級の教育課程</p> <p>①国語 ⑥音楽 ⑪道徳 ②社会 ⑦図画工作 ⑫外国語活動 ③算数 ⑧家庭 ⑬総合的な学習の時間 ④理科 ⑨体育 ⑭特別活動 ⑤生活 ⑩外国語科</p>	<p>この講義では、複式学級における、各教科等の、指導上大切な、教育課程の編成について、お伝えします。</p> <p>各教科等によって、編成・指導のポイントに、違いがあります。</p> <p>時間の都合上、全ての教科について、詳しくお話しすることはできませんが、</p>															
<p>スライド 2</p>	<p>参考資料</p> <p>・複式学級指導の手引き【令和元年度改訂版】 (令和2年3月 島根県教育委員会)</p>	<p>こちらの、「複式学級指導の手引き」をもとに、主な点を、お話しいたします。</p> <p>今後、必要に応じて、こちらの手引きで、ご確認いただければと思います。</p>															
<p>スライド 3</p>	<p>I 複式学級の教育課程編成の特例</p> <p>学習指導要領(平成29年告示)第1章総則 第2の3の(1)のオ</p> <p>学校において2以上の学年の児童で編成する学級について特に必要がある場合には、各教科及び道徳科の目標の達成に支障のない範囲内で、各教科及び道徳科の目標及び内容について学年別の順序によらないことができる。</p> <p>↓</p> <p>同単元同内容同程度 (A・B年度方式) の根拠</p> <p>☞ 手引き P11</p>	<p>まずはじめに、複式学級の、教育課程編成の特例について、学習指導要領で示されていることを確認します。</p> <p>総則には、このように示されています。</p> <p>これが、同単元同内容同程度 (A・B年度方式) で指導する場合の、根拠となります。</p> <p>ここに、「目標及び内容の、学年別の順序」とありますが、これについても、しっかりと確認する必要があります。</p>															
<p>スライド 4</p>	<p>各教科等の小学校学習指導要領における目標と内容の示され方</p> <p>学習指導要領(平成29年告示)第1章総則 第2の3の(1)のエ</p> <p>学年の内容を2学年まとめて示した教科及び外国語活動の内容は、2学年間かけて指導する事項を示したものである。各学校においては、これらの事項を児童や学校、地域の実態に応じ、2学年間を見通して計画的に指導することとし、特に示す場合を除き、いずれかの学年に分けて、又はいずれの学年においても指導するものとする。</p> <p>↓</p> <p>目標と内容の示され方に留意する必要がある</p> <p>☞ 手引き P20～22</p>	<p>なぜかという、目標と、内容の示され方には、ちがいがあからず。教科によって、1学年ごとに、示されているものもあれば、2学年まとめて、示されているものもあります。</p> <p>次のスライドをご覧ください。</p>															
<p>スライド 5</p>	<p>各教科等の小学校学習指導要領における目標と内容の示され方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成20年改訂</th> <th>平成29年改訂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標と内容が学年別に示されている教科等</td> <td>算数 理科 社会(5・6年)</td> <td>算数 理科 社会</td> </tr> <tr> <td>目標は2学年共通で、内容は学年別に示されている教科等</td> <td>(音楽の共通教材) (国語の漢字・ローマ字) (体育の保健3・4年、5・6年)</td> <td>(音楽の共通教材) (国語の漢字・ローマ字) (体育の保健3・4年、5・6年)</td> </tr> <tr> <td>目標と内容が、全学年共通もしくは2学年共通で示されている教科等</td> <td>国語、生活、音楽 図画工作、家庭、体育 社会(3・4年) 道徳 外国語活動 特別活動(学級活動)</td> <td>国語、生活、音楽 図画工作、家庭、体育 道徳 外国語活動、外国語科 特別活動(学級活動)</td> </tr> <tr> <td>目標が全学年共通で示され、内容が示されていない教科等</td> <td>総合的な学習の時間</td> <td>総合的な学習の時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>☞ 手引き P21</p>		平成20年改訂	平成29年改訂	目標と内容が学年別に示されている教科等	算数 理科 社会(5・6年)	算数 理科 社会	目標は2学年共通で、内容は学年別に示されている教科等	(音楽の共通教材) (国語の漢字・ローマ字) (体育の保健3・4年、5・6年)	(音楽の共通教材) (国語の漢字・ローマ字) (体育の保健3・4年、5・6年)	目標と内容が、全学年共通もしくは2学年共通で示されている教科等	国語、生活、音楽 図画工作、家庭、体育 社会(3・4年) 道徳 外国語活動 特別活動(学級活動)	国語、生活、音楽 図画工作、家庭、体育 道徳 外国語活動、外国語科 特別活動(学級活動)	目標が全学年共通で示され、内容が示されていない教科等	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	<p>大まかに分類すると、このようになります。</p> <p>この表を見ていただきますと、目標や内容が、1学年ごとに、示されている教科は、「算数・理科・社会」となります。</p> <p>単複を繰り返す際には、とくに留意する必要があります。</p> <p>赤字で示した、中学年の社会科については、大きな変更と言えます。</p>
	平成20年改訂	平成29年改訂															
目標と内容が学年別に示されている教科等	算数 理科 社会(5・6年)	算数 理科 社会															
目標は2学年共通で、内容は学年別に示されている教科等	(音楽の共通教材) (国語の漢字・ローマ字) (体育の保健3・4年、5・6年)	(音楽の共通教材) (国語の漢字・ローマ字) (体育の保健3・4年、5・6年)															
目標と内容が、全学年共通もしくは2学年共通で示されている教科等	国語、生活、音楽 図画工作、家庭、体育 社会(3・4年) 道徳 外国語活動 特別活動(学級活動)	国語、生活、音楽 図画工作、家庭、体育 道徳 外国語活動、外国語科 特別活動(学級活動)															
目標が全学年共通で示され、内容が示されていない教科等	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間															
<p>スライド 6</p>	<p>目標及び内容が2学年共通もしくは全学年共通で示されている教科等</p> <p>↓</p> <p>2学年を一緒に指導すればよいと安易に捉えるのではなく・・・、 学年差や発達における個人差を踏まえた上で、 どんな力を伸ばせばよいのかを明確に持ち、指導計画を作成することが望まれます</p> <p>・伸ばしたい資質・能力が(トランスよく育まれるように) ・学年差・個人差を考え、学習活動や表現方法等に幅を ・下学年の年度初め、上学年の年度末の単元配列 ・配当時間数に偏りがないように ・安全面等への配慮を十分に行う</p>	<p>目標や内容が、2学年共通、もしくは全学年で示されている、教科等については、共通なんだから、2学年を、一斉に指導すればいいと、安易に受け止めて、しまうかもしれません。</p> <p>しかし、そうではありません。</p> <p>学年差や、発達における、個人差を踏まえた上で、どんな力を伸ばせば、いいのかを明確に持ち、指導計画を、作成することが望まれます。</p> <p>そのためにも、ぜひ、ここに挙げている点に留意して指導計画を立ててください。</p>															

スライド
5



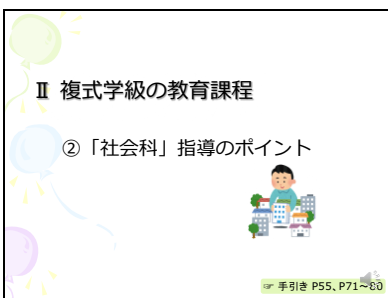
では、ここからは、各教科等の、指導のポイントについて、説明いたします。
まず、国語科のポイントについてお話しします。
手引きの、55ページと、61～70ページに記載されています。

スライド
8



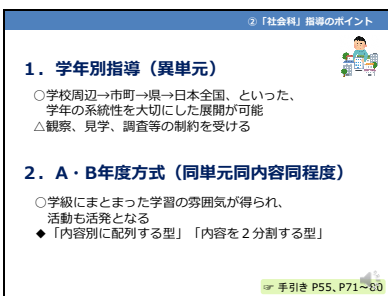
国語科は、学年別指導、A・B年度方式、同単元異内容の、3つの類型から選択されることが多いです。
それぞれのポイントについて、簡単にお話しします。
まず、学年別指導ですが、
・近年、この指導をとる学校が増えてきています。特に、1年生の入門期には、2年生と分けて指導するほうが、効果が高いと考えられています。
・しかし、学年別で指導する場合、「わたり」の必要がでますので、教師の準備と、子どもの慣れが必要になります。
次は、A・B年度方式ですが、
・教師の準備、子どもの慣れ、といった点では、比較的なじみやすい指導を行うことができます。
・ただし、発達段階の差を考慮した、指導の工夫が必要になります。
同単元異内容については、
・同領域の関連ある、教材を組み合わせ、1つの単元を構成します。そして、両学年の共通の目標と、学年別の目標とを設定します。
・導入やまとめでは、一緒に行うことも可能ですが、基本的に学習活動は別になる、ということを前提に、計画する必要があります。

スライド
6



では、次に、社会科のポイントについてお話しします。
手引きの、55ページと、71～80ページに記載されています。

スライド
10



社会科は、学年別指導、A・B年度方式、2つの類型から選択されることが多いです。
まず、学年別指導ですが、
・学習指導要領に示されている、系統的な、流れに沿って、学習が進められるという、メリットが大きいです。
・しかし、校外での調査、見学、体験活動を、2学年同時に行うことが難しいです。ですので、校内の協力体制が欠かせません。
次に、多くの学校で行われている、A・B年度方式ですが、
・同じ学習、活動を2学年で行うため、まとまった雰囲気での学習を行うことができます。
・また、A・B年度方式にも、「内容別に、配列する型」と、「内容を、2分割する型」の、2つの指導形態があります。


②「社会科」指導のポイント	
内容別に配列する型	
A年度	B年度
<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域や市町村の様子 地域の安全を守る働き 人々の健康や生活環境を支える事業 県内の伝統や文化、先人の働き 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に見られる生産や販売の仕事 市の様子の移り変わり 都道府県の様子 自然災害から人々を守る活動 県内の特色ある地域の様子
白地図で表す活動や地図記号を扱う活動を適宜取り入れる	
内容を2分割する型	
A年度	B年度
<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の様子 地域に見られる生産の仕事 地域の安全を守る働き（火災） 市の様子の移り変わり、都道府県の様子 人々の健康や生活環境を支える事業（飲料水、電気、ガス） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの市町村の様子 地域に見られる販売の仕事 地域の安全を守る働き（事故） 人々の健康や生活環境を支える事業（廃棄物）
※高学年：第6学年の「我が国の歴史」が全体の3分の2程度→分割しにくい	
☞ 手引き P55、P71～80	

内容別に配列することで、じっくり学習することができますが、系統性が保てない場合は、例えば、「白地図や、地図記号を扱う学習」を適宜取り入れるなどの、工夫が必要です。

内容を2分割する場合は、一単元の時間が、こま切れになりますが、先ほどの問題は解消されます。また、高学年については、歴史単元が長期間になるため、分割することが、かなり難しいです。

II 複式学級の教育課程

③「算数科」指導のポイント



☞ 手引き P56、P81～85

次に、算数科のポイントについてお話しします。
手引きの、56ページと、81～85ページに記載されています。

③「算数科」指導のポイント

1. 学年別指導（異単元）

- 発達や学年の段階に応じた
反復（スパイラル）による教育課程編成
- ・学年別指導を基本としながら、複式学級の良さを生かし、
 - 下学年が上学年の内容への興味・関心を高める
 - 上学年が下学年の内容を学び直す機会を柔軟に設定

(例)

- 第3学年「一万をこえる数」と第4学年「一億をこえる数」
- 第3学年「分数」と第4学年「分数」
- 第5学年「かけ算の世界を広げよう」「わり算の世界を広げよう」と
- 第6学年「分数のかけ算を考えよう」「分数のわり算を考えよう」
- 第5学年「立方体や立方体のかさを考えよう」と
- 第6学年「角柱と円柱の体積の求め方考えよう」


☞ 手引き P56、P81～85

算数科では、ほとんどの学校で、学年別指導の形をとっています。学習内容の系統性や、児童の発達段階を考慮し、多くの学校で取り入れられている指導形態になります。

工夫のポイントとしては、あえて、両学年が関連する内容を、意図的に設定することで、反復して学習する機会を提供することができます。

II 複式学級の教育課程

④「理科」指導のポイント



☞ 手引き P56、P86～94

次に、理科のポイントについてお話しします。
手引きの、56ページと、86～94ページに記載されています。

④「理科」指導のポイント

1. 学年別指導（異単元）

- ◆「系統性を生かして組み合わせる場合」と「別の内容を組み合わせる場合」がある
- ◆安全面への配慮
 - アルコールランプや危険な薬品

2. A・B年度方式（同単元同内容同程度）

- ◆問題解決の力は2年間を通して育てる
- ◆指導にあたっての配慮事項
 - 初めて理科を学ぶ3年生への配慮
 - 実験器具や薬品等について、初出の単元で配慮

☞ 手引き P56、P86～94

理科は、取り組み事例の多い、学年別指導と、A・B年度方式のポイントについて、お話しします。

学年別指導で、単元を組み合わせる際には、「系統性を生かして組み合わせる場合」と、あえて、「別の内容を組み合わせる場合」の、2通りが考えられます。

児童の実態に応じて、適した組み合わせを、考えることが大切です。学年別指導を行う際には、安全面についても、十分な配慮が必要です。火や、危険な薬品を、用いた実験と、野外での実験・観察が、できるだけ重ならないように年間指導計画を工夫する必要があります。

次に、A・B年度方式についてですが、

「問題解決の力」については、「学年ごとに育成すべき力」が示されていますので、2年間を通して育てることを、意識する必要があります。


指導にあたっての配慮事項としては、

初めて理科を学ぶ、3年生への配慮や、初めて実験器具を扱う場合など、確認をていねいに行うようにしてください。

スライド 16

II 複式学級の教育課程

⑤「生活科」指導のポイント



☞ 手引き P56、P95～98

次は、生活科のポイントについてお話しします。
手引きの、56ページと、95～98ページに記載されています。

スライド 17

⑤「生活科」指導のポイント

○学年別指導 ○A・B年度方式
○1本案 ○くりかえし案 ○2本案

例) 折衷案(4・5月のみ学年別指導)

【4・5月の異単元計画例】
第1学年 単元名「がっこうだいすき」
第2学年 単元名「2年生だ うれしいな」

➡A・B年度方式

- ◆学年に応じたねらいや内容を検討
- ◆飼育・栽培(内容(7))は毎年度取り扱う

月	時数	第1学年単元名(主な内容)	時数	第2学年単元名(主な内容)
4	2	いまのなかよし大作戦7期間		
5	2	きまぐれおもしろい(7)		
6	2	きまぐれおもしろい(7)		
7	2	きまぐれおもしろい(7)		


☞ 手引き P56、P95～98

生活科は、いずれの指導類型が適切かは、一概にはいえません。
取組み事例が多い例としては、
基本は「A・B年度方式」にし、4・5月のみ、「学年別指導」という編成があります。
4・5月は、1年生と2年生、それぞれ特色のある内容になるので、その対応のためだと考えられます。
A・B年度方式のポイントとしては、飼育栽培は、毎年取り扱わなければ、ならないことです。
A年度を飼育、B年度を栽培、といった編成は、実態に合わせて行ってもよいので、両年度に飼育と栽培が、必ず入るように編成してください。

スライド 18

II 複式学級の教育課程

⑥「音楽科」指導のポイント



☞ 手引き P57、P99～102

次は、音楽科のポイントについてお話しします。
手引きの、57ページと、99～102ページに記載されています。

スライド 19

⑥「音楽科」指導のポイント

1. A・B年度方式(同単元同内容同程度)
➡或いは、くりかえし案

- ・内容の系統性や児童の音楽経験等を十分に考慮
- ・2学年同じ目標を立て指導と評価を一体化させる。
- ・学年差による楽器の演奏技能や記号の理解度等を考慮

※くりかえし案(完全1本案)
➡同じ単元を2年間くりかえす指導の類型


☞ 手引き P57、P99～102

音楽科は、学年別指導だと、音が重なるため、指導が難しい面が多く、
A・B年度方式をとる学校が多いです。
実態や、編成によっては、「くりかえし案」をとる方法もあります。
指導のポイントとしては、
・表現や、鑑賞の活動において、上学年の、音楽表現の工夫や、音楽を味わって聞く姿、音楽に親しむ態度などを、下学年と共有し、関心や意欲を高める、といった工夫ができます。
・また、くりかえし案によって、同じ題材を2年間くりかえす場合も、それぞれの学年で、学習が積み重ねられるよう、指導する内容や、扱う教材を、検討する必要があります。

スライド 20

II 複式学級の教育課程

⑦「図画工作科」指導のポイント



☞ 手引き P57、P103～108

次は、図画工作科のポイントについてお話しします。
手引きの、57ページと、103～108ページに記載されています。

スライド 21

7 「図画工作科」指導のポイント

1. A・B年度方式（同単元同内容同程度）
→或いは、くりかえし案

- ・2学年同じ目標を立てる。発達の段階が異なるため評価規準の設定を考慮する
- ・同じ内容を扱うが、内容の発展、系統性、児童の経験や能力の差などから、学年のねらいを明確に

※くりかえし案（完全1本案）
→同じ単元を2年間くりかえす指導の類型

☞ 手引き P57, P103~108


図画工作科は、教材準備の負担や、題材の特性から、学年別指導だと、難しい面が多く、A・B年度方式をとる学校が多いです。
実態や、編成によっては、「くりかえし案」をとる方法もあります。
指導のポイントとしては、

- ・同じ題材でも、学年差や、個人差に応じて、指導内容に、変化をもたせて指導する必要があります。
- ・また、くりかえし案では、同じ題材、例えば、お話の絵を描く場合は、両学年で、異なる目標を設定するなど、造形的な能力や、態度が、児童の発達段階に応じて、伸ばされるよう、特に、配慮する必要があります。

スライド 22

II 複式学級の教育課程

⑧ 「家庭科」指導のポイント



☞ 手引き P57~58, P109~111

次は、家庭科のポイントについてお話しします。
手引きの、57~58ページと、109~111ページに記載されています。

スライド 23

⑧ 「家庭科」指導のポイント

1. 学年別指導（異単元）

- 単元を組み替えることで、安全面での配慮ができる（調理実習、制作）
- △直接指導や間接指導の組み合わせが複雑

2. A・B年度方式（同単元同内容同程度）

- 教材準備等の負担が軽減される
- 上下学年の関わりが生かせる
- △学習の系統性を保つことが難しい

3. 同単元異内容（折衷案、くりかえし案）

- 上記2種類のデメリットを解消できる
- △各学年の目標や内容、活動等、教育課程の編成を緻密に行う必要がある


☞ 手引き P57~58, P109~111

家庭科は、それぞれの指導類型にメリット、デメリットがあるので、一概には言えません。
ただし、折衷案などのように、部分的に工夫を加えることで、そのデメリットも解消できます。
学年別指導、また、A・B年度方式では、それぞれ、メリットと、デメリットがあります。
折衷案として、くりかえし案を載せていますが、学年の発展性や系統性、季節、学校行事、地域などとの関連を考え、配列することが大切になります。

スライド 24

II 複式学級の教育課程

⑨ 「体育科」指導のポイント



☞ 手引き P58, P112~115

次は、体育科のポイントについてお話しします。
手引きの、58ページと、112~115ページに記載されています。

スライド 25

⑨ 「体育科」指導のポイント

1. くりかえし案（完全1本案）

- 転出や転入があっても未履修を気にしなくても良い
- ◆評価規準をそれぞれの学年で設定

学年	1学年(2020)				2学年(2021)			
	1	2	3	4	1	2	3	4
健康	○	○	○	○	○	○	○	○
運動	○	○	○	○	○	○	○	○
生活	○	○	○	○	○	○	○	○
心身	○	○	○	○	○	○	○	○

保健領域は各学年で示された内容を学習。

2. A・B年度方式（同単元同内容同程度）

- 教材準備等の負担が軽減される
- △運動の学習では、学年差が大きい

☞ 手引き P58, P112~115

体育科は、くりかえし案と、A・B年度方式の、2つの類型から選択されることが多いです。
まず、くりかえし案ですが、

- ・完全に1本の指導計画を、毎年度行うので、転出入があっても、未履修になることはありません。
- ・ただし、同じ活動を行っていても、それぞれの学年の評価基準を、明確に設定しておく必要があります。


A・B年度方式ですが、

- ・指導計画は、比較的作成しやすいですが、
- ・上学年、下学年の運動能力の差が大きく、場合によっては、十分な学習が成立しにくい点があります。

スライド 26

II 複式学級の教育課程

⑩「外国語科」指導のポイント



☞ 手引き P58, P116~124

次は、外国語科のポイントについてお話しします。
手引きの、58ページと、116～124ページに記載されています。

スライド 27

⑩「外国語科」指導のポイント

1. 折衷案（A・B年度方式とくりかえし案）

- 学年別指導よりも、人数の多い集団で活動できる
- ◆上学年と下学年で、異なる目標に設定
- ➡同じ活動でもゴールの姿を異なるものとする

(例)

第5学年 「進んで簡単な自己紹介をしようとする」
第6学年 「好きなことなどを含めて自分のことを伝え合おうとする」

(2年間でくりかえし学習する単元でも)

第5学年 上の学年の支援を得てインタビュー
第6学年 一人でインタビュー

➡活動は同じでも目標を学年毎に設定する

☞ 手引き P58, P116~124

外国語科は、A・B年度方式と、くりかえし案の、折衷案が、適しているのではないかと考えられます。

コミュニケーションを主とした教科ですので、共に学習できる子が多い方が、充実した学習になります。

留意点としては、2学年が同じ活動をしていても、異なる目標を設定する必要があります。

例として、

「自分のことを紹介する」といった活動において、


5年生は、「支援を得てインタビューする」という目標を、6年生は、

「一人でインタビュー」という目標を、分けて設定するといった工夫があります。

スライド 28

II 複式学級の教育課程

⑪「特別の教科 道徳」指導のポイント



☞ 手引き P58, P125~130

次は、「特別の教科 道徳」のポイントについてお話しします。
手引きの、58ページと、125～130ページに記載されています。

スライド 29

⑪「特別の教科 道徳」指導のポイント

1. A・B年度方式（同単元同内容同程度）

- ◆個人差の大きい異年齢集団であることに留意
- ◆2学年で多人数→多様な道徳的価値に触れる
- ◆1年間で全ての内容項目を取り上げる
- ◆各教科等、体験活動との関連を図るため、できるだけ同じ時期に同じ内容項目を設定することも
- ◆年度当初は特に下学年に配慮し、理解しやすい資料を取り扱う

☞ 手引き P58, P125~130

道徳は、多くの学校で、A・B年度方式がとられています。

ここでは、指導上の留意点について、お伝えします。


1年間で、全ての内容項目を、取り上げるように、指導計画を、作成する必要があります。そのうえで、異年齢集団であること、多様な価値が、得られることを踏まえ、授業を実施します。

年度当初は、下学年に配慮し、理解しやすい資料を、扱うように心がけてください。

スライド 30

II 複式学級の教育課程

⑫「外国語活動」指導のポイント



☞ 手引き P58, P131~135

次は、「外国語活動」のポイントについてお話しします。
手引きの、58ページと、131～136ページに記載されています。

<p>スライド 31</p>		<p>外国語活動は、外国語科と同様に、A・B年度方式と、くりかえし案の、折衷案が、適しているのではないかと考えられます。</p> <p>留意点としては、毎年度、1学期は「Let's Try!1」から始める、といった、3年生の学習意欲に、十分配慮すること。</p> <p>また、教科書ではないため、3年生でも「Let's Try!2」を持たせることが可能です。</p> <p>それから、くりかえし案の場合、目標を違うものにする。例えば、3年生で大文字、4年生で小文字といった設定です。</p> <p>A・B年度方式の場合は、系統性に、配慮することが大切です。例えば、進級を考慮し、AB年度共に、3学期に、4年生の単元を配置する、という工夫もできます。</p>
<p>スライド 32</p>		<p>次は、「総合的な学習の時間」のポイントについてお話しします。</p> <p>手引きの、59ページと、137～141ページに記載されています。</p>
<p>スライド 33</p>		<p>総合的な学習の時間は、学習指導要領に示されている通り、実態に合わせて、指導計画を、作成することになっています。</p> <p>したがって、複式学級においては、2学年まとめて、学習を行うという形態が、広く実践されています。</p> <p>例として、くりかえし案で行う場合、3・4年、5・6年というまとまりで学習を展開し、2年続けて同じテーマで学習を進めます。</p> <p>2年目にあたる学年では、より深く、追求課題を設定したり、発展的な課題を、追求したり、することが望めます。</p>
<p>スライド 34</p>		<p>最後は、「特別活動」のポイントについてお話しします。</p> <p>手引きの、59ページと、142～146ページに記載されています。</p>
<p>スライド 35</p>		<p>特別活動は、学習指導要領に示されている通り、目標が1年～6年まで共通で示されています。</p> <p>内容は、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の4つです。</p> <p>したがって、複式学級においては、2学年いっしょに学習する、A・B年度方式を基本とした形態で、広く実践されています。</p> <p>指導における留意点としては、A・B年度方式であっても、1年～6年まで、系統的な指導が、必要となります。</p> <p>系統性を、意識した、指導計画を作成することが必要です。</p> <p>また、単学級も同様ですが、学級活動と、学校行事とが、連携するような、指導計画の作成が望めます。</p>



以上、
複式学級の教育課程について、お話ししました。
おおまかなポイントのみ、お伝えしましたので、詳細については、「複式学級指導の手引き」でご確認いただければと思います。
以上で、講義を終わります。